

質問者氏名	質問事項	質問要旨
<p>12番 石川 栄</p>	<p>1 人口減少への政策対応について</p> <p>2 すずき草原周辺の整備について</p>	<p>箱根町の人口減少は地方の過疎の域を超えており、行政が正面から受け止めることからスタートとなる。当町は観光立町であり、観光業に従事する人が住みやすい町とすること、また当町に定住してもらうことが必須と考えることから、次の3点について伺います。</p> <p>①第6次総合計画の「若者定住」の促進について</p> <p>②定住化については町民だけで構成する人口問題を考える組織の起ち上げについて</p> <p>③平成38年町人口は1万人と推定されており、今後の状況と展望を踏まえ、「人口減少時代」における望ましい地域活性化について、町長の所見を伺う。</p> <p>神奈川50選に推薦され、年間15万人の観光客が訪れる。今年度は特に多く、草原内の歩道が見えない状態であり、すすき草原を中心に満足した回遊をしてもらえるような周辺整備を考えなければならない。町として今後の考え方を伺う。</p> <p>①県道75号線歩道の早期完成に向けた県への要望について</p> <p>②すすき草原入口の私有地部分に看板があるが、このことについて交渉、進捗状況を伺う。</p> <p>③シカ害による柵設置の進捗状況について</p> <p>④すすき草原頂上部分の展望台設置について</p>
<p>9番 山田 成宣</p>	<p>1 今後の消防計画について</p>	<p>①あらためて現行の本署1、分署1、分遣所2の体制を維持してもらいたいが、</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(山田成宣)		<p>この件について、町長のご所見は。</p> <p>②今後、不祥事を起こさないためにどの様に署内での研修、勉強を進められるか。</p> <p>③非常備消防（消防団）のさらなる活動状況の整備を行っていただきたく、装備等の充実についても現場からの要望もふまえて対応して頂きたいが、町の見解を伺う。</p> <p>④消防職員においては、特に危機管理上、箱根町内に居を構えていただく様な体制づくりを進めていただきたくと住民の多くは思っているが、そのことについて町長のご所見を伺う。</p>
13番 折橋 尚道	<p>1 30年度予算編成について</p> <p>2 土地価格の減少傾向による固定資産税収入の影響について</p>	<p>①徹底した行財政改革を30年度予算編成に基本的な考え方として3つの基本方針を示している。その中で将来に負担を先送りにしないとしているが、第6次総合計画を遂行していく上で起債に関する基本的な考え方を伺う。</p> <p>②今年度まで町道修繕などに起債を利用しているが、修繕に起債ができるようになったとしても好ましい状態ではないと考えるが、方針に変わりはないのか。</p> <p>③債務負担行為としているものの中には、利息等を考えると債務負担行為としない方が有利なものもあると考える。債務負担行為に関する利用についての制限はあるのか。</p> <p>①12月を迎え、固定資産税超過課税を導入して2年目が過ぎようとしておりますが、町内地価価格の減少傾向に歯止めがかからず町税収入に影響があり、超過課税分を地価下落が吸収してしまってい</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(折橋尚道)	<p>3 財源確保のための受益者負担の適正な使用料・手数料の考え方について</p>	<p>るような状況である。昨年度の決算を踏まえた上での、今年度の町税収入の見込みはどのようなになっているのか。</p> <p>①財源確保として、受益者負担の原則に則り、今年度、ごみ処理に手数料の徴収を実施したが、今後も不足する財源確保として、現在徴収しているいくつかの使用料・手数料の見直しや、別の新たなる受益者負担を町民にお願いすることは検討されているのか、もしくは検討課題として考えているのか。</p>
2番 勝俣 公好	<p>1 北朝鮮によるミサイルの発射情報での町の対応について</p> <p>2 箱根町高校保護者会連絡協議会から町内バス（仙石原）ダイヤの改善要望について</p>	<p>近頃、北朝鮮によるミサイル発射で、北海道を越えて太平洋へ落下するというニュースがあり、それに伴う自治体の対応が伝えられましたが、もし箱根町方面へ北朝鮮によるミサイルが向けられ、発射情報が国から伝えられた時の対応についてお伺いします。</p> <p>町高校保護者会連絡協議会総会時に、宮城野、仙石原地域の現行バスダイヤは多くの問題点があると意見が出た。神奈川県では、2005年度より学区を撤廃し、自由に志望校を選択できるようになったが、バスダイヤに影響され、自由な進路選択につながらない。また、希望校に入学できても部活動に間に合わず、部活動を諦めるなど、この地域に住んでいることで制約を受けている生徒が多いのが現状です。この問題で転居をした家庭もあり、また転居を検討する家庭も少なくない。そこで、ダイヤ改正等、次の4点について箱根登山バスに要望したと聞いて</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(勝俣公好)		<p>おりますが、回答はどのようになっているかお伺いします。</p> <p>①仙石原からの始発バスについて、土日についても平日ダイヤ同様に運行してもらいたい。(土日でも部活動を行っている学校も多いため)</p> <p>②仙石原からの始発バス及び仙石原への最終バスについて、増発を検討してもらいたい。(現行バスダイヤでは、志望校の選択や部活動に大きな制約があり、親が毎日送り迎えをしている)</p> <p>③朝晩の桃源台発着の増発を検討してもらいたい。(現行バスダイヤでは、早朝や夜の時間帯の多くが仙石原案内所発着のバスとなっており、仙石原高原や温泉荘、湖尻周辺の家庭で購入している定期券が有効に使えない)</p> <p>④箱根線については、小田原発の最終便の発車時刻を現在よりも遅い時間に設定してもらいたい。</p>
1 番 山田 和江	1 国保の県単位化と国保料について	<p>いよいよ2018年度から県が市町村とともに保険者となり、「財政運営の主体」となる国保の県単位化が始まろうとしています。国保はこれまでも保険料が高く加入者にとっては重い負担となっていることから、この制度においてもやはり一番の関心は保険料がどうなるのかという問題ではないかと思われまます。そこで、国保の県単位化について以下の点について質問します。</p> <p>①納付金の算定はどのようになっているか。</p> <p>②標準保険料率の算定状況について</p> <p>③保険者努力支援制度が新しく実施され</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(山田和江)	2 教職員の働き方について	<p>るが、この内容について</p> <p>④保険料を引き下げて払える保険料にするためにも一般会計からの法定外繰り入れを引き続き行うことについて</p> <p>⑤国保運営方針にはどのような内容が盛り込まれるのか伺う。</p> <p>今年4月、文科省は、2016年10月、11月に行った全国の小中学校の教員勤務実態調査の結果を発表しました。10年前の調査よりもいっそう時間外勤務が増え、教職員の働き方がますます深刻になっています。「学内勤務時間」が1週間当たり60時間以上と答えた人は小学校で33.5%、中学校で57.6%にもものぼり、1ヶ月あたりに換算すると、厚労省が過労死ラインとしている月80時間を超える時間外勤務をしていることになり、4月28日付毎日新聞では「中学教諭、6割近くが過労死ライン」と報じられるまでになりました。このような長時間過密労働の深刻な実態は教職員のいのちと健康にかかわる問題であると同時に、子どもたちの教育条件にもかかわる問題です。そこで、これからも教職員がゆとりを持って笑顔で子どもに接することのできるためにも以下の点について質問します。</p> <p>①当町の小中学校教職員の勤務実態は把握されているのか。</p> <p>②年休の取得率はどのような状況か。</p> <p>③まだ数が少ないが、自治体によっては夏休みや冬休みの一定の期間、学校を閉庁にしているが、当町ではどのように考えているか。</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
5番 勝俣 剛一	<p>1 移動期日前投票所開設について</p> <p>2 学習支援事業「箱根土曜塾」について</p>	<p>9月24日投票となった箱根町議会議員選挙において、有権者の利便性、投票率の向上を目指し開設した移動期日前投票所について、有権者の評価は高く、町側には今回の結果を検証し、今後の継続や投票時間等の延長も考慮し、次回に向けて取り組むべきと考えるが、町側の対策についてお伺いします。</p> <p>10月14日に学習支援事業として「箱根土曜塾」を開講し、受験勉強できる環境を整え、志望校に入れるよう開設され、保護者には大変喜ばれています。新規事業として開始された公営塾ではありますが、箱根から町外の塾へ通うためには交通手段や塾費用等、家計にかかる負担が重く、それを軽減することになり、長く継続すべき事業と考えます。今後の塾の進め方や問題点について、町側の考えをお伺いします。</p>
8番 川端 祥介	<p>1 国際社会のあたらしいものさし 持続可能な開発目標（SDGs）に対する町の取り組みについて</p> <p>2 生活困きゅう者自立支援の状況等と民生委員の活動と成果について</p>	<p>国連では、2015年9月に「国連持続可能な開発サミット」が開催され、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」いわゆるSDGs（エスディーゼズ）が採択されました。これにより地域から持続可能な社会をつくる行動計画などの必要性が叫ばれていますが、箱根町として目標に対する取り組みについてお伺いします。</p> <p>本町における生活困きゅう者自立支援の状況や取り組みについて、また町民生委員・児童委員の組織と主な活動の状況、取り組み、成果などについてお伺いいたします。</p>



質問者氏名	質問事項	質問要旨
(稲葉親太郎)		<p>に開催される東京オリンピック・パラリンピックの開催により、今後も国内外から多くの観光客が見込まれ、交通の利便性の確保や駅などの交通拠点の機能拡充が求められています。そこで、次の3点について伺います。</p> <p>①都市計画マスタープランにおける「交通施設整備の考え方」について</p> <p>②主要駅などの交通拠点の機能拡充の考え方について</p> <p>③具体的な取り組みについて（整備内容と進め方）</p> <p>※強羅駅における駅周辺整備、仙石原交差点におけるバスターミナル整備等</p>
7番 村野由紀子	1 子育て支援と定住化の推進について	<p>①認定子ども園と保育所の運営状況と対応についてお伺いします。</p> <p>②保育教諭や保育士等の人材の確保についてお伺いします。</p> <p>③国は企業主導型保育制度を導入しましたが、箱根町の企業が保育所を作る取り組みについて、町の考えをお伺いします。</p> <p>④今後の子育て世帯の定住化施策の展開についてお伺いします。</p>